

職員WGの実施について

1. これまでの報告事項・経過

第6次総計では、職員WGの実施は考えていない

トーマツから職員WGの独自提案（プロポ）があった

- ・「将来都市像」の案出しのために和泉市の将来を担う若手職員の意見も取り入れてはどうか。若い層からは、中堅・ベテラン層にはない柔軟な意見が出てくることが多い。
- ・第5次総計では15名の職員で11回のワーキングを行ったようだが、現場の業務も多忙な中、この回数をこなすのは難しいと推察する。全2回程度でよいのでは。
- ・1回目を講義形式で市の現状や他市との比較を伝え、2回目をグループワークにするのはいかがか。

事務局にて再検討

- ・職員の負担を抑えつつも、若手職員に市の現状を知ってもらうことも必要
- ・総計の構想策定にあたって、若手職員の意見の吸い上げも大切

実施する

2. 実施内容

- | | |
|----------|---|
| 1. 内 容 | 第6次総計における構想、将来都市像の検討 |
| 2. 位置づけ | 職員研修 |
| 3. 対 象 者 | 概ね35歳以下の若手職員 |
| 4. 募集方法 | 庁内公募を予定（20名程度） |
| 5. 役 割 | 自らの担当分野だけでなく、市全体の幅広い観点から将来の和泉市について考え、本市の目指すべき将来都市像について検討する。 |
| 6. 会議予定 | 第1回：10月下旬、第2回：11月上旬 |

総合計画を 創りませんか

WORKING GROUP

総合計画 とは？

市の進むべき大きな方向性を示す、市で最も上位に位置する計画です。人口問題、まちづくり、教育、財政問題など大きなものから小さなものまで、本市をとりまく課題はたくさんありますが、今後、市内外の住民から「選ばれる」まちにしていくなめには、指針となる「市があるべき姿」を示し、各部局が一丸となって目標達成に向けて突き進んでいかなければなりません。

このための指針、つまり本市の「将来都市像」を一緒に考えてくれる仲間を探しています。あなたも、ワーキンググループの一員となって、本市の目指すべき将来像を考えてみませんか？

ポイント
1

市の現状がわかる

第1回は講義形式とし、本市の人口問題をはじめ、第5次総計や創発プランに基づきどのような施策を実施してきたかなど、本市をより深く知っていただく機会にすることを考えています。

ポイント
2

政策決定に関わる

日々の業務では、部局ごとに割り振られた個別の業務がメインになりますが、この機会に少し目を離して、大局的な観点から市を見つめ、本市の政策決定に関わってみませんか？

ポイント
3

負担は最小限に

日常業務で忙しい中でも参加しやすいよう、2回完結型の研修とします。ポイントを押さえた資料で効率よく本市の状況を学び、他部署の方々との活発な意見交換によりさらに知識を深められるよう、効率を重視します。

全2回

10/20

仮

11/10

13:00

14:00

第1回 市の現状[講義] 第2回 グループワーク
どちらも1回2時間程度

対象者

35歳以下の職員を想定（それ以上も歓迎）

申込方法

別紙の申込用紙を記入のうえ、政策企画室までメールにて申込願います。（9/30まで）

おもろそうやけど

聞いたことはあるけど...

ワーキング

って

何すんの？

総計は
H26
ぶりの開催

第1回 (10/20 13:00~)

環境破壊 災害
人口問題
財政難 高齢化 いじめ
学力低下 差別
貧困

市の将来都市像を考えるうえで、市の置かれた状況を把握することは必要不可欠です。第1回では、担当業務よりも大きな観点から市を俯瞰し、本市の今の立ち位置を理解します。

< 座学形式 >

- 和泉市の現状等の把握
 - ・基礎調査結果（人口・財政・産業構造等）
- 総合計画・創発プランに関する理解
 - ・総合計画、創発プランとは
 - ・総合計画、創発プランの内容の共有
- 次期総合計画・創発プランの体系（案）
- 各種アンケート結果の共有

第2回 (11/10 14:00~)



第1回で学んだ本市の状況を踏まえて、将来都市像の案出しを行います。本市を多角的に見たうえで、どのような都市になることが理想的か、グループワークで整理を行います。

< ワークショップ形式 >

- 和泉市の強みの検討
 - ・和泉市が有する強みや資源の抽出
- 和泉市の弱み（課題）の検討
 - ・和泉市の弱み（課題）の抽出
 - ・現計画期間中に取り組むべき優先的な課題
- 将来都市像の検討
 - ・弱み（課題）がクリアされたときの将来都市像の抽出
 - ・将来都市像のキーワード（案）の抽出